

放射線科 機器紹介

長崎県の離島で初めて、放射線治療装置（リニアック）が導入されました。

放射線治療

放射線治療は、癌の局所病変の根治を目指す上で、外科的切除と並ぶ有力な治療法です。癌の種類や病期によっては、化学療法との組み合わせで治療効果が高まる事も知られています。局所治癒が難しい進行病変の場合でも、放射線を当てて病変の増大を止めたり、一時的に縮小させたりすれば、癌の局所病変に由来する不快な症状（痛み、マヒ、嚥下障害など）をやわらげる事が可能です。進行癌の方の症状を緩和する上では、非常に有効な治療です。



放射線治療装置(リニアック)
ELEKTA Synergy

MRI検査

MR I 検査とは磁気と電波を利用してあらゆる断面の画像を得ることができる撮影方法です。撮影中は、狭いトンネルの中に入って大きな音の中での検査となりますが、耳栓を使用していただき、音を軽減することができます(2019年9月の機器更新で音は静かになりました。)。また、レントゲン装置やCT検査と違いX線を使用しませんので、放射線被ばくはありません。頭部では、急性期の脳梗塞の描写等に有効な画像や、CT検査では抽出しにくい軟部組織（脊髄、椎間板、関節軟骨、半月板、靭帯など）の描写にすぐれています。



MRI装置Canon Vantage Orian X Grade

CT検査

CT検査とは、身体にX線を照射して、通過したX線量の差をデータとして集めコンピューターで処理することによって身体の内部を画像化する検査です。

当院で昨年導入したフィリップス社製最新64列128スライスCT装置

「Ingenuity Elite」は、1回転で128スライスの画像を得ることができ、従来よりも高速な検査が可能となり（当院にもう一台あるCTはToshiba AquilionPRIME(80列160スライス)、検査を受ける方への「被ばく」や長い息止めを軽減・緩和できるようになりました。

また、マルチスライス技術により、さらに細かいスライスで撮影することで、体内の微細な情報を得ることができるようになりました。

撮影した心臓の画像をコンピューターで処理することで、心臓や心臓に栄養を送る冠動脈という血管を立体的に見ることができ、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患を早期発見することができます。



CT装置Canon AquilionPRIME
(80列160スライス)



CT装置PHILIPS Ingenuity Elite
(64列128スライス)

血管造影検査（心臓カテーテル検査）

心臓カテーテル検査とは、手足の動脈からカテーテルと呼ばれる細い管を心臓の血管入り口まで送り込み、カテーテル先端より造影剤を注入して、冠状動脈の状態（狭窄・閉塞）を映し出す方法です。

当院では、毎週火曜日と木曜日の午後から心臓カテーテル検査を行っています。

第2・第4木曜日は、福岡徳洲会病院より医師の応援をいただいております。



血管撮影装置(DSA) (FPD)
GE InovaIGS 530/ComboLabIT64ch

マンモグラフィー検査

マンモグラフィー検査とは、乳腺・乳房専用の装置を用いて行うX線検査です。撮影時に、アクリル板で乳房を押さえるため、若干の痛みを伴いますが、乳房を圧迫しながら薄く均一に広げ撮影することで、少ないX線で乳房の中をより鮮明にみることができ、乳がんの早期発見にとっても有効な検査方法です。

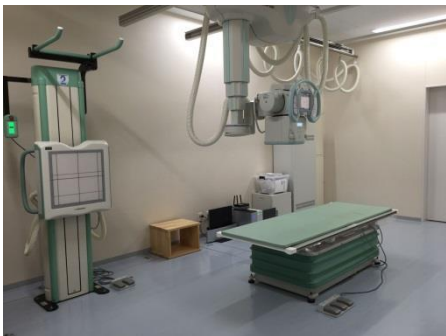
当院では、乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィー読影医が4名(外科2名、放射線科/総合腫瘍科、産婦人科)、検診マンモグラフィー撮影認定診療放射線技師2名が在籍し、各部門で連携した医療提供を行っております。

また、女性技師も在籍しておりますので、検査を受けられるのに抵抗がある方は、ご相談ください。



乳房撮影装置 (FPD)
SIEMENS MAMMOMAT
Inspiration(トモシンセシス搭載)

その他撮影機器



一般撮影装置 (FPD)
SHIMADZU RADSPEED PRO4台



X線TV装置 (FPD)
SHIMADZU SONIALVISION safire17



骨密度測定装置 (DXA)
GE PRODIGY-C



X線TV装置 (DR) Canon ZEXIRA
DREX-ZX80+ADR-1000A



ポータブル装置 (FPD)
SHIMADZU Mobile ArtEvolution3台